

中小企業再生支援協議会の活動状況について
～令和2年度活動状況分析～

令和3年6月
中小企業庁
金融課

中小企業再生支援協議会とは

協議会事業

多様な中小企業の事業再生を支援するため、各都道府県に中小企業再生支援協議会等が設置されています。

各協議会等には、企業再生に関する知識と経験を持つ専門家（公認会計士、税理士、弁護士、中小企業診断士等）が常駐しており、中小企業の再生に係る相談などにきめ細やかに対応しつつ、地域の総力を結集し再生を支援しています。

支援スキーム

窓口対応（1次対応）

常駐専門家が、ヒアリング・面談等により中小企業の経営状況を把握し、提出資料等の分析を通じて、経営上の問題点や具体的な課題を抽出し、どのような支援が最も良いのかを検討します。

令和2年4月より

「再生計画」の策定が必要だと判断した場合

関係機関の窓口を紹介することが適切だと判断した場合

再生の可能性が低く協議会での対応が困難だと判断した場合

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、資金繰り支援が必要だと判断した場合

適切な窓口（商工会議所・商工会・中小企業支援センター・政府系金融機関等）を紹介。

可能な範囲でのアドバイスや専門家等の紹介。

「特例リスケ計画」策定支援

常駐専門家が企業のメイン金融機関と連携し、既存債務の元金返済をストップさせた上で、資金繰り計画（特例リスケ計画）の策定を支援。

「再生計画」策定支援（2次対応）

※必要に応じて「再生計画」策定支援に移行

常駐専門家が中心となり、必要に応じて中小企業診断士等の外部専門家により個別支援チームを編成し、再生計画策定を支援。

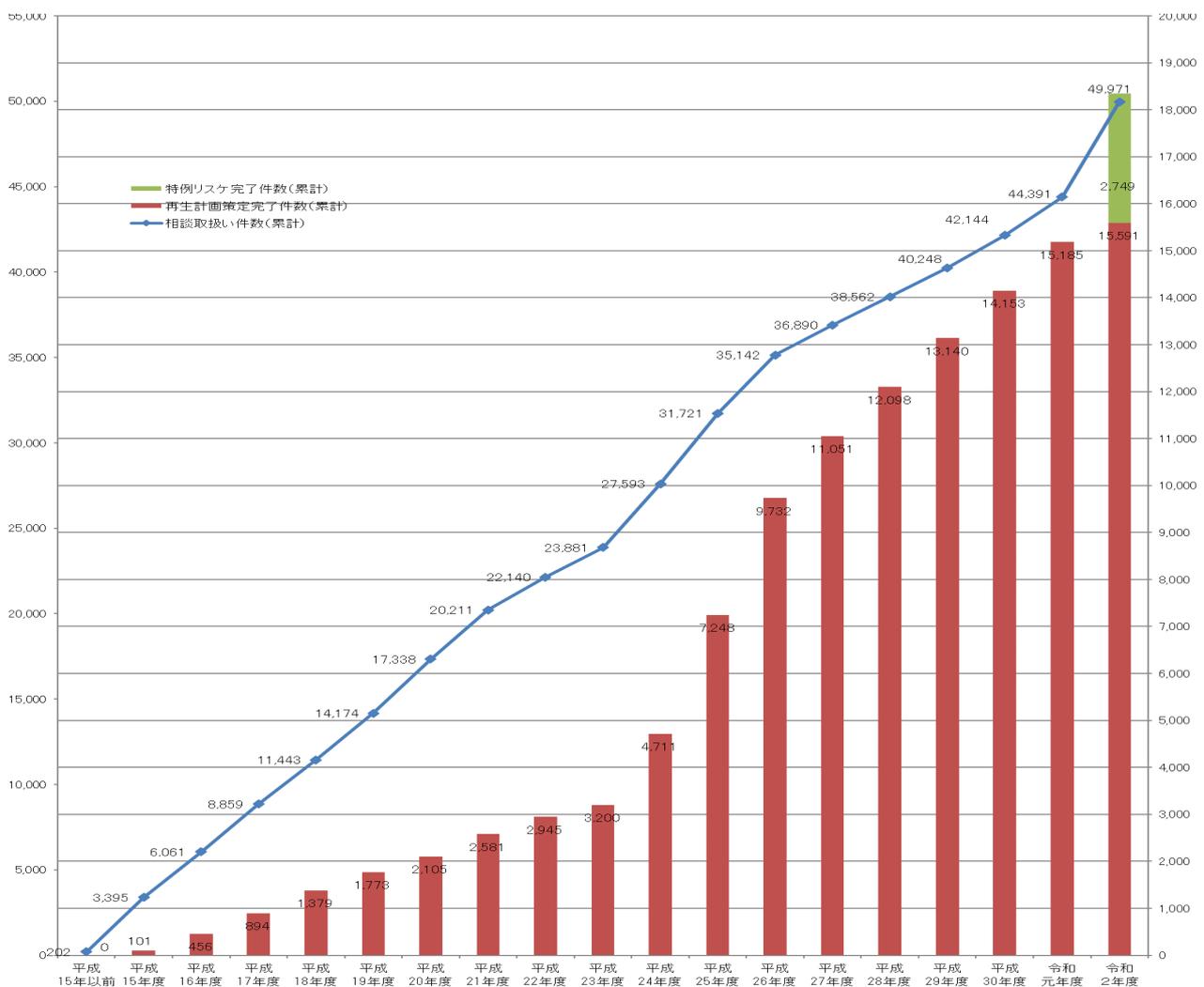
1. 窓口相談及び再生計画策定支援件数の推移

中小企業再生支援協議会は、平成15年2月の発足以来、令和2年度末までに49,971社からの相談に応じ、15,591社の再生計画の策定支援を完了するなど、着実な成果をあげています。

令和2年度の再生計画策定支援完了件数は、406件となり、前年度の再生計画策定支援完了件数1,032件から減少したが、今年度から開始した特例リスケ計画策定支援完了件数は2,749件となった。

相談企業数

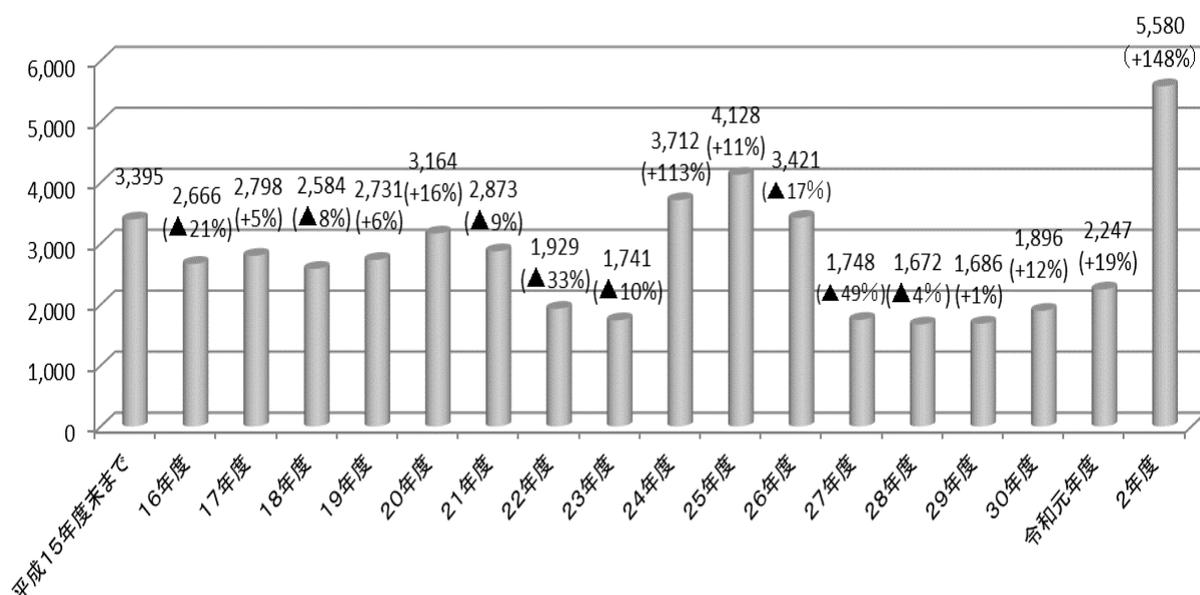
計画策定完了件数



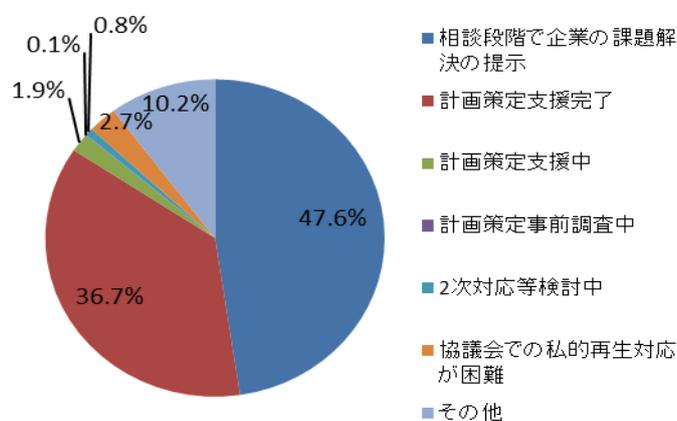
2. 窓口相談企業への対応状況

- ・ 令和2年度の窓口相談企業数は、5,580件（前年度約148%増）となりました。
- ・ 令和2年度でみると、相談段階（一次対応）で課題が解決した企業は約3割となっており、特例リスケ計画策定支援完了先を含む約5割が計画策定支援完了となっている。

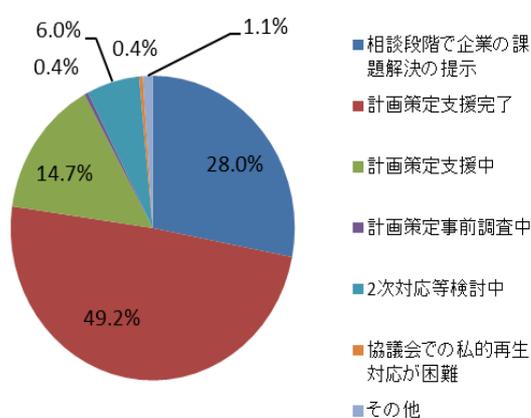
相談企業数の年度推移



相談企業への対応状況（累計）



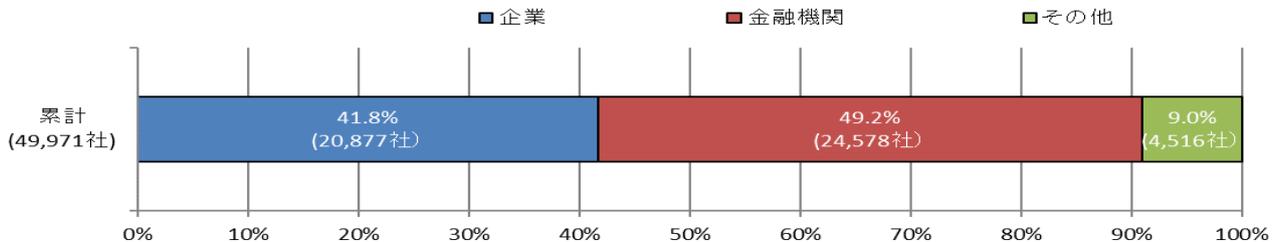
相談企業への対応状況（令和2年度）



3. 窓口相談への相談持込者の内訳

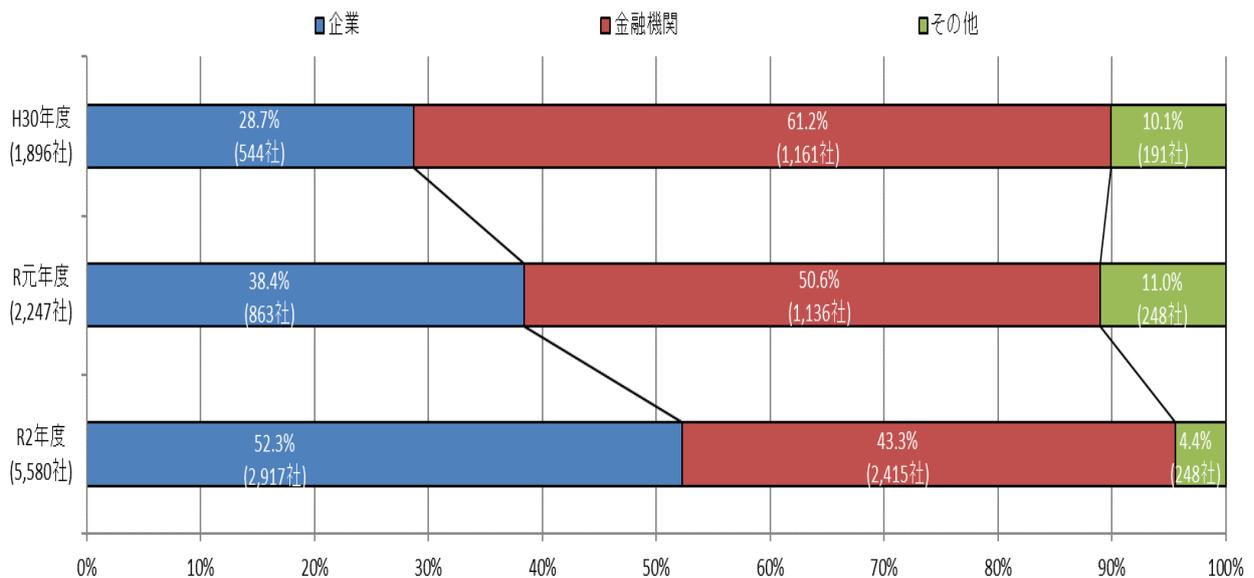
- ・ 協議会に持ち込まれた相談の累計では、金融機関による持ち込み件数が、企業による持ち込み件数を超えています。
- ・ 年度推移では、企業から持ち込まれた社数が、令和2年度に前年度比2,054社増の2,917社となり、全体に占める割合は約5割となり、年々増加傾向です。

累 計



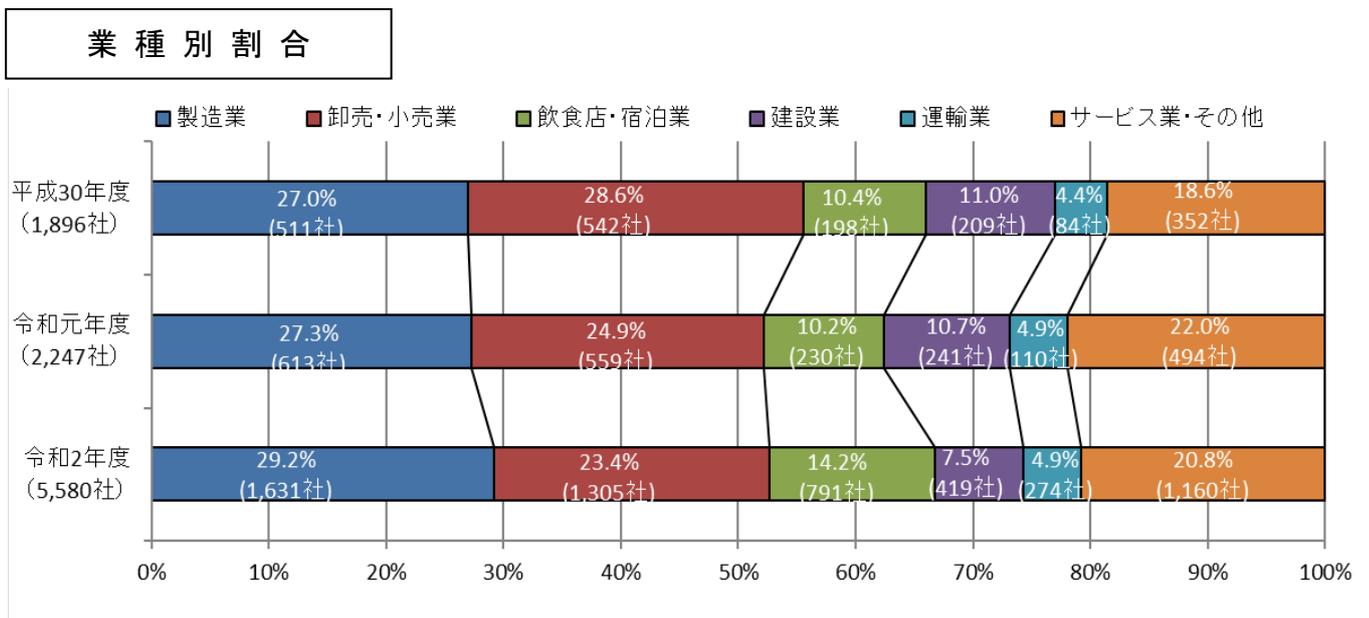
※ 「その他」の主なものは、「商工会・商工会議所」、「都道府県中小企業支援センター」。

年 度 推 移

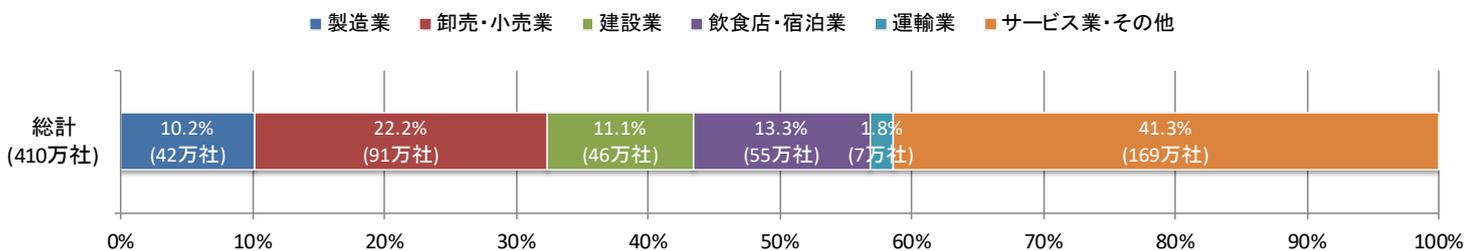


4. 窓口相談企業の業種別割合

- ・ 窓口相談に訪れる企業の業種は、製造業、卸売・小売業で全体の約6割を占めています。
- ・ 令和2年度の窓口相談件数は、今年度より特例リスケ計画策定支援を開始したこともあり全体的に増加し、前年度比3,333社増の5,580社となりました。



【参考】産業大分類別企業数

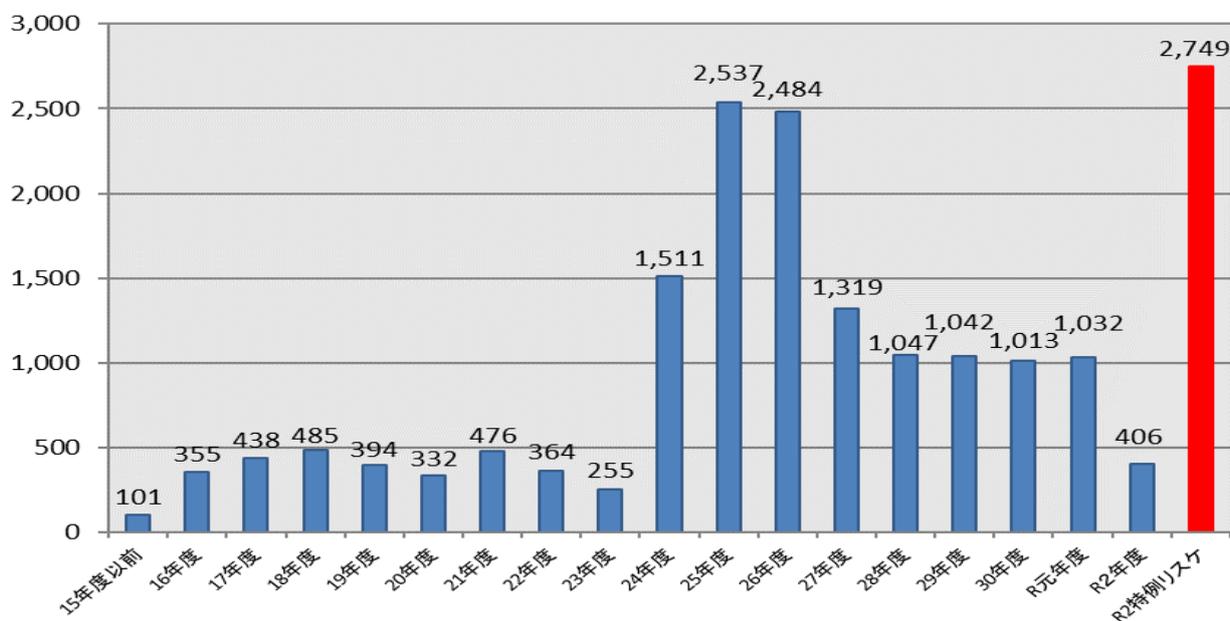


出所：平成26年度経済センサス基礎調査一
(平成27年11月30日付総務省)

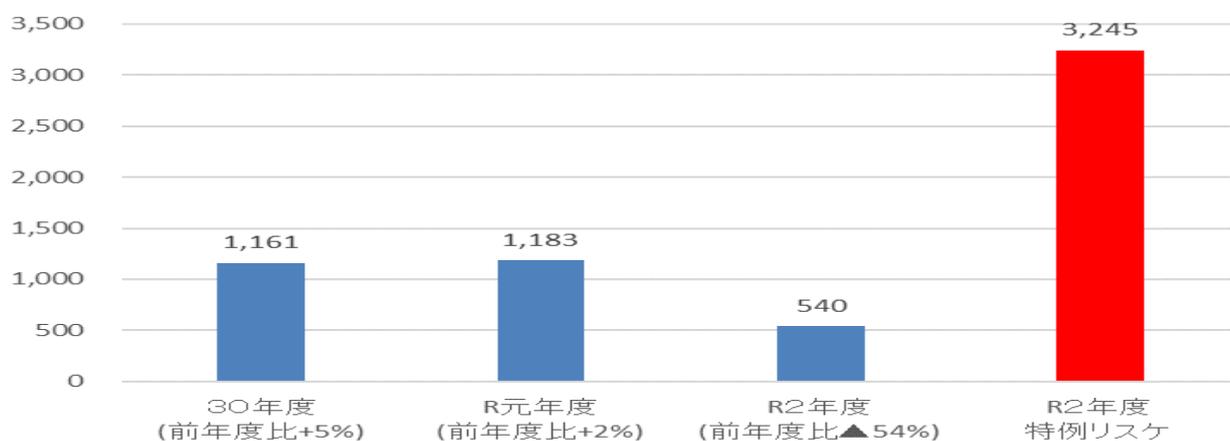
5. 計画策定支援完了企業数及び新規支援開始企業数

- ・ 令和2年度に再生計画の策定支援を完了した社数は406社、特例リスケ計画の策定支援を完了した社数は2,749件となりました。
- ・ また、再生計画の策定支援を新たに開始した社数は540社となりました。特例リスケ計画の策定支援を開始した社数は、3,245社となりました。

完了件数の年度推移



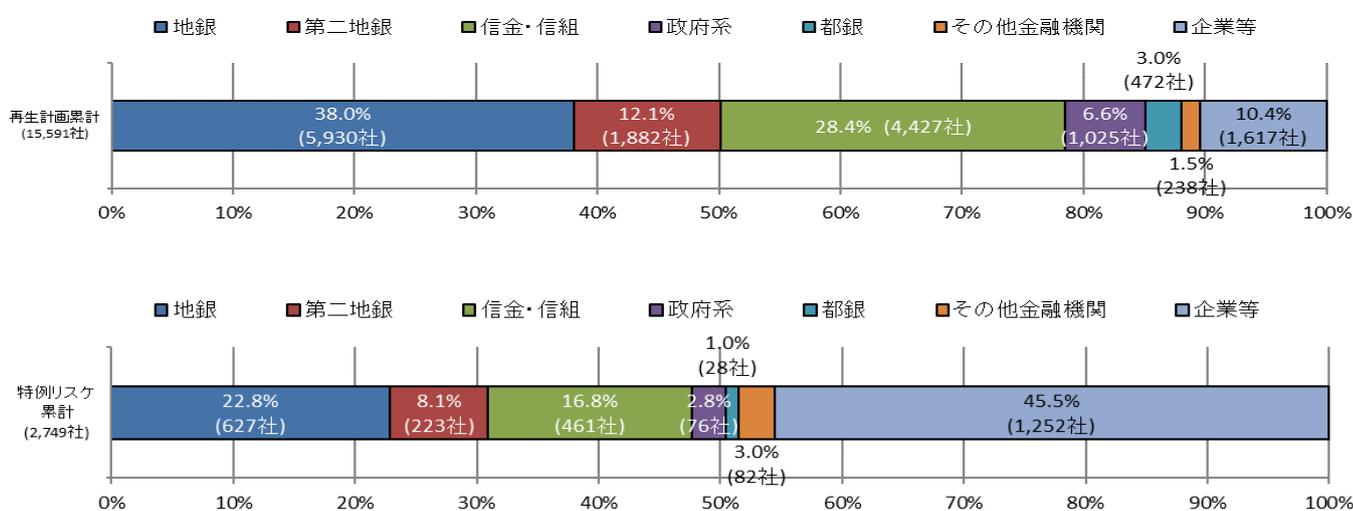
新規支援開始件数の年度推移



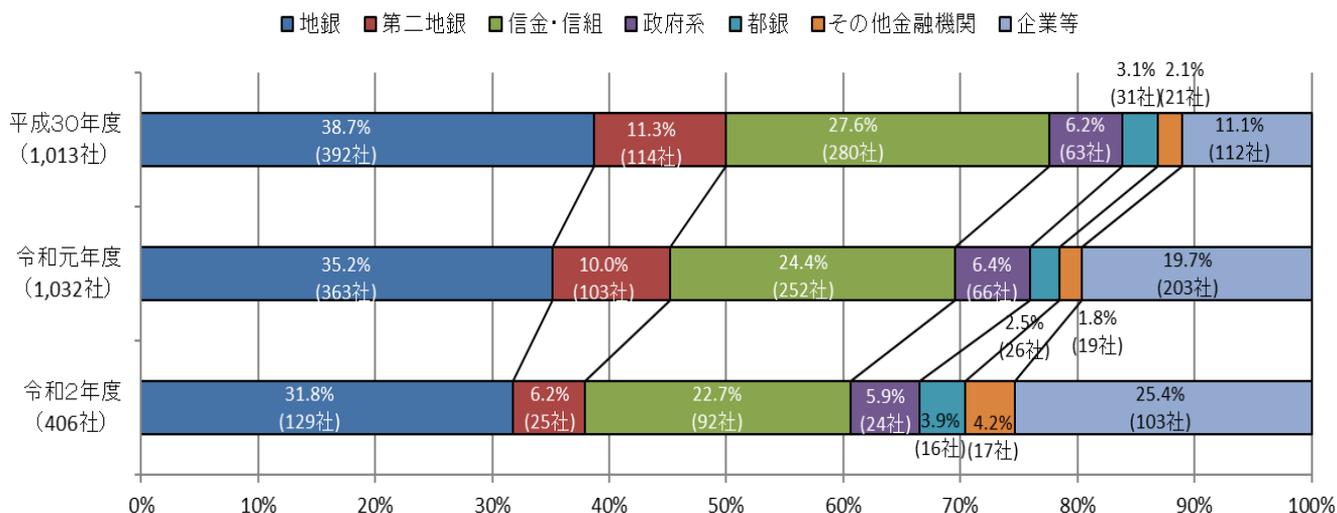
6. 計画策定支援完了企業の相談持込者の内訳

- ・ 相談持込者に係る再生計画の累計では、地銀、第二地銀及び信金・信組からの持ち込みが約8割を占めていますが、特例リスケ計画に関しては企業等からの持ち込みが約半数を占めています。
- ・ 再生計画の年度推移を見ると、信金・信組からの相談持ち込みが約2割を占めていますが、企業等からの持ち込みも近年増加しております。

累 計



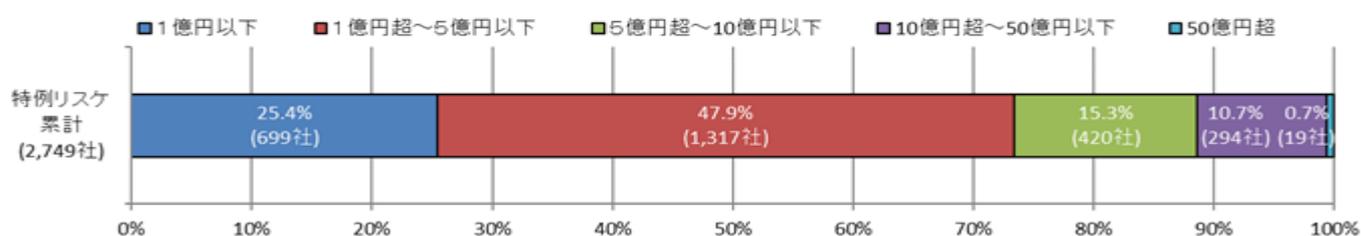
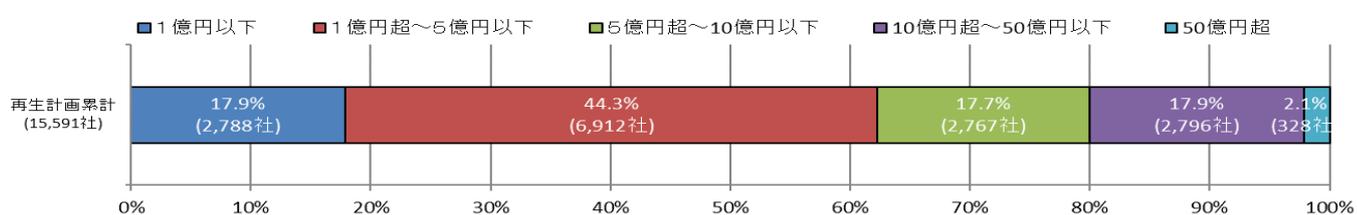
年 度 推 移 (再生計画)



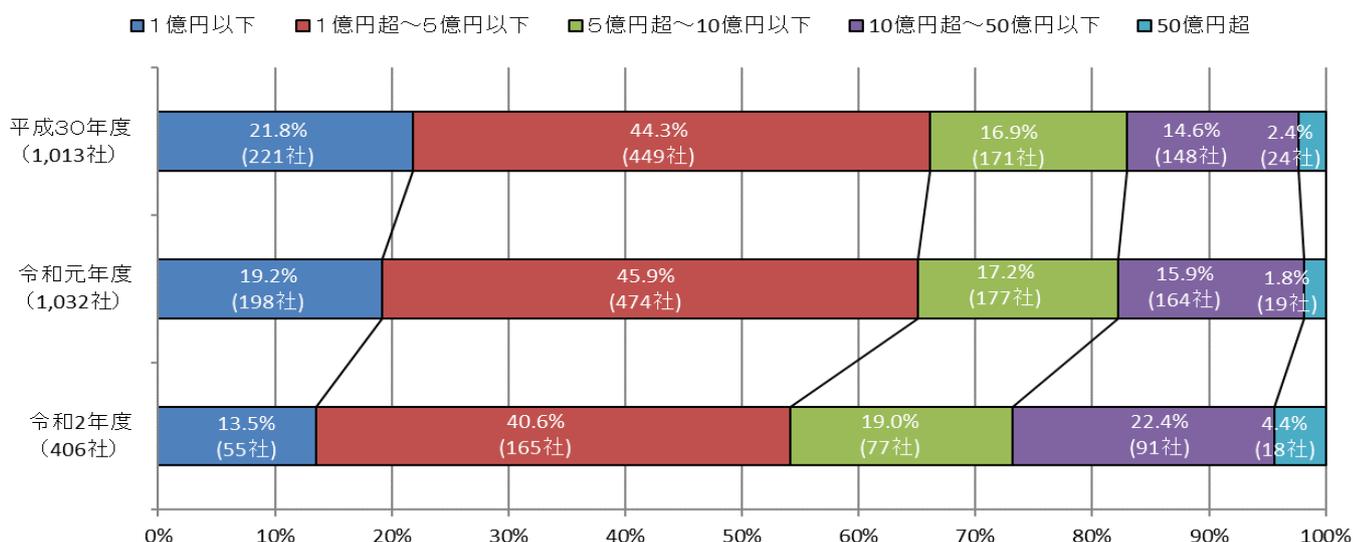
7. 計画策定支援完了企業の規模別（売上高）割合

- ・ 規模別（売上高）で見ると、累計では、再生計画は1億円超～5億円以下の割合が最も多く、4割超を占め、特例リスケ計画では7割超を占めます。
- ・ 再生計画の年度推移を見ると、令和2年度では、5億円超～10億円以下、10億円超～50億円以下の割合が昨年度に引き続き増加しています。

累 計



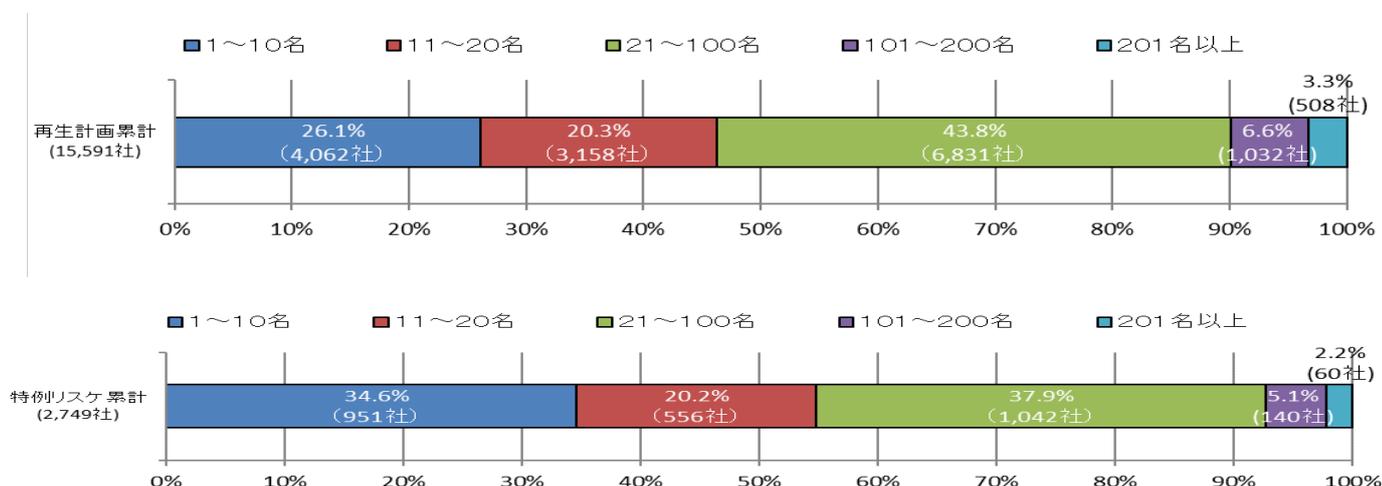
年 度 推 移（再生計画）



8. 計画策定支援完了企業の規模別（従業員数）割合

- ・ 規模別（従業員数）で見ると再生計画、特例リスケ計画ともに、累計では従業員21～100名の割合が最も多く約4割を占めます。
- ・ また、再生計画の年度推移を見るに、令和2年度は、21～100名が3.3ポイント増加し、1～10名が8.3ポイント減少しました。

累 計



年 度 推 移 (再生計画)

